



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

1/9
改訂日: 2018/11/09
印刷日: 2018/11/09

1. 製品及び会社情報

1.1 製品情報

製品名 アリエッティ水和剤
製品コード (UVP) 05930383

1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 殺菌剤

1.3 安全データシート作成者

供給者情報 バイエルクロップサイエンス
株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5

電話番号 03-6266-7419

FAX番号 03-5219-9735

担当部門 生産本部 QHSEグループ

1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)
ホットライン (24時間対応)

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアルによる分類（改訂4版）

発がん性: 区分1

H350 発がんのおそれ。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）: 区分2

H371 臓器（呼吸器系）の損傷を引き起こすことがある。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）: 区分2

H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（呼吸器系、腎臓）の障害のおそれ

水生環境有害性(急性): 区分3

H402 水生生物に有害。

水生環境有害性(長期間): 区分3

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

2.2 ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル（第4改訂版）による表示



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

2/9

改訂日: 2018/11/09

印刷日: 2018/11/09

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- H350 発がんのおそれ。
 H371 臓器（呼吸器系）の障害のおそれ
 H373 長期にわたる，又は反復ばく露により臓器（呼吸器系，腎臓）の障害のおそれ
 H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
 P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 P264 取り扱い後は手および顔をよく洗うこと。
 P270 この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
 P273 環境への放出を避けること。
 P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 P314 気分が悪いときは，医師の診断 / 手当てを受けること。
 P405 施錠して保管すること。
 P501 内容物/容器の廃棄は地域の規則に従い行うこと。

2.3 他の危険有害性

粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。

3. 組成及び成分情報

3.2 混合物

化学名又は一般名

水和剤 (WP)
Fosetyl-aluminium 82.5% WP

危険有害成分

名称	化学名	CAS番号 / 官報公示整理番号	濃度 [%]
ホセチル	アルミニウム＝トリス（エチル＝ホスホナート）	39148-24-8 2-(7)-331	80.00
石英 (SiO ₂)		14808-60-7 (1)-548	



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

3/9
改訂日: 2018/11/09
印刷日: 2018/11/09

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス	事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医師の診察を受ける（可能ならばラベルを見せる）。
吸入	直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。新鮮な空気のある場所へ移動する。患者を暖かく安静にしておく。
皮膚接触	皮膚に付着した場合、大量の水で直ちに洗浄する。
眼に入った場合	直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せること。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 知られていないか予想されない症状。

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

取り扱い 症状に応じた治療を行う。少なくとも48時間は、医師による観察が必要である。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤 泡，二酸化炭素（CO₂），粉末

5.2 特有の危険有害性

火災が発生した場合、次のものが発生する可能性がある：，一酸化炭素（CO），窒素酸化物（NO_x）

5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護 火災時には、自給式呼吸器を着用する。

詳細情報 消火剤の拡散を抑えること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 粉塵の発生を避ける。漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。付近の発火源となるものを取り除く。

6.2 環境に対する注意事項

機器の洗浄や機器の洗浄水を含む廃棄物の処理により、地表または地下の水を汚染しないでください。



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

4/9

改訂日: 2018/11/09

印刷日: 2018/11/09

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法

こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。製品を回収し、適切にラベルを貼って密閉した容器に移す。回収されたら「13. 廃棄上の注意」の記述にあるように取り扱うこと。

追加アドバイス

ローカルサイトの手順についても確認してください。

6.4 参照すべき他の項目

安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

安全取扱い注意事項

粉じんは空気中で爆発性の混合物を生成することがある。熱や発火源から遠ざける。静電気の蓄積を防止する手段を講じる。

衛生対策

作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管場所および容器の必要条件

乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。納品時の容器でのみ保管する。保管場所には、許可された者のみが入り出す。直射日光を避ける。

一般的な保管について

食物、飲み物、飼料から遠ざける

適切な容器包装材料

ポリプロピレン
ポリエチレン

7.3 特定の最終用途

ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS番号	管理濃度	更新日	基準
ホセチル	39148-24-8	5 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*
石英 (SiO ₂) (吸入性粉塵)	14808-60-7	0.03 mg/m ³ (CEILING)	05 2010	JPJSOH OEL

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。 それ



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

5/9

改訂日: 2018/11/09

印刷日: 2018/11/09

以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

製品が封入されていない状態で取り扱われ、接触が発生する可能性がある場合：

欧州規格EN149FFP1、又は同等規格に適合する粒子フィルターマスク付き（保護係数4）の呼吸用保護具を着用すること。

呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

CEマーキング（または同等）のニトリルゴム手袋を着用してください（最小厚さ0.4 mm）。汚染されたときは洗い流し、内部が汚染されたり、穿孔されたり、外部の汚染物質を除去できないときは処分してください。食べたり、飲んだり、喫煙したり、トイレを使用する前に、頻繁

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。

眼の保護具

欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合する保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ5の化学防護服を着用すること。

重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。

可能であれば、2層の衣類を着用すること。ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

一般的な保護措置

必要に応じて着用：

手袋

保護眼鏡

効果的な防塵マスク

9. 物理的及び化学的性質**9.1 物理的及び化学的性質の基本情報**

形状	粉末
色	類白色
pH	3.0 - 4.0 (1 %) (23 ° C) (蒸留水)
発火温度	412 ° C (1,022 hPa)
最低点火エネルギー	> 1,000 mJ Apparatus MIKE 3
かさ密度	0.2 - 0.4 g/ml 公定法 (JP)



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

6/9

改訂日: 2018/11/09

印刷日: 2018/11/09

n-オクタノール／水分配係数 ホセチル: log Pow: -2.1

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

熱分解 234.5 ° C, 加熱速度: 10 K/min, 分解エネルギー: 210 kJ/kg

10.2 化学的安定性 通常の状態では安定。

10.3 危険有害反応可能性 規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
通常の状態では安定。

10.4 避けるべき条件 極端な温度と直射日光。

10.5 配合禁忌 データなし

10.6 危険有害な分解生成物 通常の実験条件下では分解生成物はなし。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性（経口） LD50（ラット）> 5,000 mg/kg

急性毒性（吸入） ATE（混合物）> 5.0 mg/l
ばく露時間: 4 h
データなし
計算による方法

急性毒性（経皮） LD50（ラット）> 5,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 わずかな刺激効果 - 表示は必要なし（ウサギ）

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 わずかな刺激効果 - 表示は必要なし（ウサギ）

呼吸器感作性又は皮膚感作性 皮膚: 皮膚感作性なし（モルモット）

特定標的臓器毒性－単回ばく露

ホセチル: 入手可能なデータによれば、分類されない。

特定標的臓器毒性－反復ばく露

ホセチルは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

変異原性

ホセチルは、インビトロおよびインビボ試験の電池で変異原性または遺伝毒性ではなかった。

発がん性

ホセチルは、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

7/9

改訂日: 2018/11/09
印刷日: 2018/11/09

生殖毒性

ホセチルは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

発生毒性

ホセチルは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 13.8 mg/l
ばく露時間: 96 h

水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 43.3 mg/l
ばく露時間: 48 h

水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) 34.5 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h

12.2 残留性・分解性

生分解性

ホセチル:
急速分解性がある

Koc

ホセチル: Koc: 0.1

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性

ホセチル:
生物濃縮なし

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性

ホセチル: 土壌中できわめて移動しやすい

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価

ホセチル: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられていない。

12.6 その他の有害影響

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

8/9
改訂日: 2018/11/09
印刷日: 2018/11/09

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	非該当
航空輸送	非該当

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG	非危険物
IATA_C	非危険物
IATA_P	非危険物

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

詳細情報

WHO分類: III (わずかに有害)

農薬取締法

登録番号 : 15548 (Bayer CropScience K.K.)

労働衛生上の注意事項

無関係

消防法

非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

シリカ 2.8 %

名称等を通知すべき危険物及び有害物

シリカ 2.8 %

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

非該当

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。



アリエッティ水和剤

版番号 1/J
102000002116

9/9
改訂日: 2018/11/09
印刷日: 2018/11/09

2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話
(情報提供料: 無料) (情報提供料: 一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時～21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。